

チャレンジいばらき

特集 糸でつながる、地域にひろがる。—手づくり品で心とむひとときを—

▶ 社会活動デビューセミナー ▶ 地域活動団体データベース ▶ ネットワーカー活動推進大会・活動報告

▶ 団体会員を訪ねて ▶ ひぬま流域クリーン作戦 ▶ Information



ひぬま流域クリーン作戦



特集団体
『図書館フレンズふじしろ布絵本の会
いないいないばあ』



特集団体
『ほっとタイムマフ 認知症ケアマフを編む会』



団体会員を訪ねて
『公益社団法人 茨城県看護協会』



社会活動デビュー セミナー&交流会を開催しています。

県内で地域の困りごとの解決やコミュニティづくりなど、社会の新しい力になってみたいと考えている方に向けて開催しています。

第1回のセミナーは、「事業計画策定の考え方」でした。堀下氏より、事業計画を策定するにあたって「6W2H」を意識することが重要であり、その上で「なぜ、いまなのか」「なぜ、あなた(たち)ならできるのか」「なぜ、この解決策なのか」を深掘りすることが大切であると、お話しいただきました。また、これから新たにトピックを考える場合には、不満や不便などの「不」から考えると分かりやすいとアドバイスいただきました。

第2回「事業計画の具体化とプレゼンテーション準備」のセミナーでは、前回の振り返りを交えつつ、プレゼン準備において「自分の知識」と「聞き手の知識」には差があることを自覚し、常に相手の目線で考えることの大切さが伝えられました。

参加者は、和やかな雰囲気の中、事業計画やプレゼンの秘訣について熱心にメモを取りながら堀下氏の話に耳を傾けていました。

第3回「実践的な地域活動の始め方～過去アワード受賞者による合同プレゼン～」は、いばらきチャレンジアワード知事賞受賞者の皆様にお話しいただきました。



第1回・第2回セミナー & 交流会
GuestTalk:株式会社しびくばわー
代表取締役社長 堀下 恭平 氏

第1回 事業計画策定の考え方

開催日▶令和8年6月27日

Guest Talk 株式会社しびくばわー
代表取締役社長 堀下 恭平 氏

第2回 事業計画の具体化と プレゼンテーション準備

開催日▶令和8年7月11日

Guest Talk 株式会社しびくばわー
代表取締役社長 堀下 恭平 氏

第3回

実践的な地域活動の始め方

～過去アワード受賞者による合同プレゼン～

開催日▶令和8年10月3日

Guest Talk いばらきチャレンジアワード「支え合い2022」
茨城県知事賞受賞 For Everyone Study
いばらきチャレンジアワード「支え合い2023」
茨城県知事賞受賞 特定非営利活動法人ソワンアンドソワレ
いばらきチャレンジアワード「支え合い2024」
茨城県知事賞受賞 特定非営利活動法人ただいま
いばらきチャレンジアワード「支え合い2025」
茨城県知事賞受賞 認定特定非営利活動法人キドックス

これからのセミナー & 交流会

第4回

持続可能な地域活動の実現

開催日▶令和8年12月5日 ▶セミナー(受講料無料)13:00～15:00 ▶交流会(参加費500円)15:15～16:15

開催場所▶交流サロニーいばらき(水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2階)又はオンライン:Zoom

Guest Talk 一般社団法人トリナス代表理事
みんなの図書館さんかく 館長 土肥 潤也 氏

※駐車場有、当該イベント参加者は駐車場代無料。
※セミナーの日程・内容・講師は予告なく変更場合がございます。
あらかじめ御承知ください。

申込
詳細▶



地域活動団体 データベース のご紹介

地域で活動したい人と、地域活動団体をつなぐ
データベース **登録無料** です

県内約360団体が登録!!

チャレンジいばらき県民運動のホームページでは、茨城県内の福祉、環境保全、青少年育成、防犯・防災などの様々な分野で活動するNPO法人や地域活動団体を紹介するデータベースを公開しています。県内の地域活動団体(NPO法人、ボランティア活動団体など)であれば、無料でご登録いただけます。データベースはインターネット上で、誰でも検索・閲覧できますので、興味のある活動や団体をぜひ探してみてください!

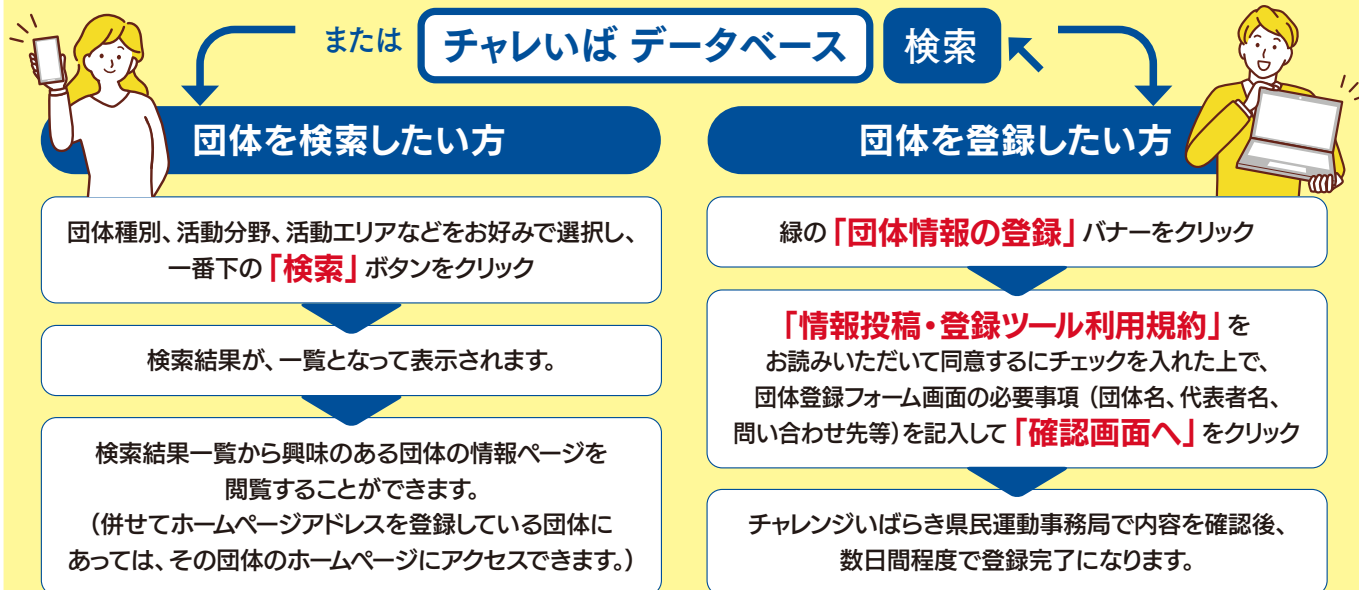
地域で活動したい人と地域活動団体をつなぐ

- ★ボランティアに参加したいけど、近所にどんな団体があるかわからない……
- ★〇〇〇市でやっている子ども食堂が知りたい
- ★一緒に活動してくれる仲間を募りたい
- ★自分の団体と、同じ分野で活躍する団体とつながりたい など

地域活動団体データベースのご紹介

- ★ボランティアに参加したい、一緒に活動したい、講師をお願いしたいと考えている分野の団体を見つけやすい
- ★新規登録団体は、チャレいばのWebサイトやSNS等でご紹介します!
- ★各種補助金制度やイベント情報などを提供(希望者のみ)

チャレンジいばらき県民運動ホームページ <https://challenge-ibaraki.jp/database/> にアクセス



Q 登録できる団体は?

A NPO法人や地域活動団体、社会福祉法人、公益法人などの団体が登録できます。

Q どんな団体が登録しているの?

A 子育て支援、居場所づくり、保険・医療、学習支援、障害者支援、清掃活動、花壇づくり、町おこし、防災、スポーツ、国際交流、動物愛護など、様々な分野で活動する約360団体(令和8年9月現在)が登録しています!

Q 登録料、利用料はいくら?

A 登録、利用ともに無料です!(登録に伴う費用負担等は一切ございません)

Q 電話で問い合わせて詳しく聞きたい

A チャレンジいばらき県民運動事務局(029-224-8120)までお気軽にお問い合わせください。

データベースはコチラ



登録はコチラ



「情報投稿・登録ツール利用規約」



特集

糸でつながる、地域にひろがる。 —手づくり品で心とむひとときを—

取手市

図書館フレンズふじしろ布絵本の会 いらないないばあ

平成15年4月設立。図書館が子どもたちにとってより身近な存在になることを願い、「布絵本」の制作・図書館への寄贈を続けている。

代表者 石川 孝子 さん



活動を始めたきっかけは 何ですか？

きっかけは、会の発起人である田島さんが、「児童図書館研究会」の集まりで、日本の乳幼児サービスの草分け的存在であるすずらん文庫の渡辺順子さんから、図書館に布絵本を置く大切さについて話を聞いたことです。さらに公共図書館の布絵本について調査する中で、障がいのある方へのサービスとして布絵本を取り入れている図書館があることを知りました。布絵本は紙の絵本とは違い、触れて楽しめるため、子どもたちにも良いという話から、絵本好きの仲間が集まり活動をスタートしました。

布絵本づくりで 大切にしている思いや工夫は？

小さい子どもたちが触るので、一針一針丁寧に縫うことを大切にしています。私たちは縫うのが専門なので、読み聞かせスタッフから「喜ばれているよ」と聞くと制作者冥利に尽きます。月に1〜2冊程度、必ず作品の修復をしているので、それだけ皆さんに読んでもらっていると実感しています。また、メンバー同士の話し合いを大切にすることで、自然なまとまりが生まれています。

自分の意見を陰で言うのではなく、みんなが集まった場所で提案してもらおう雰囲気を作っています。そうすることで空気が悪くなることなく、良い活動に結びつけることができます。

なぜ、布絵本コンクールに 挑戦しているのですか？

井の中の蛙にならないよう、2年ごとに開催される「手づくり布の絵本全国コンクール」に挑戦しています。令和7年度に審査委員賞を受賞した「カツパレもち」は、布を選ぶところから始まり、原案の絵に合った色がないシーンは、自分たちで染色するなど、1枚目を仕上げるのに4〜5ヶ月、完成までに2年半を費やしました。出品という大きな目標があると、布絵本づくりに対する気持ちの在り方が明らかに違ってきます。また、出品することによって、他の

方々の取り組みや工夫を学ぶ機会も得られるので、それが新しい作品づくりの参考になっています。

これからの活動の 目標はなんでしょうか？

今年度からは「河童の税金」という取手の昔話を布絵にする取り組みを始めました。活動を続けていく上で一番大切なのは、楽しいと感じてこの会に参加することです。おしゃべりしながらの作業は、友達づくりに一役買っています。次の世代にこの活動を伝えていく意味からも、仲間を増やすことが課題で、ボランティア体験の機会や、ボランティア募集の説明会で布絵本の意義や活動状況を知っていただく工夫をしています。ぜひ新しい方にも参加していただきたいです。



心を込めて一针ずつ丁寧に生み出されたモコモコふわふわな手芸品は、手にとった人を笑顔にし、作った人の心も満たしてくれる素敵なコミュニケーションツールです。作品づくりを通して地域社会とのつながりを創出する活動に取り組んでいる2組の団体を紹介します。



活動紹介動画



日立市

ほっとタイムマフ 認知症ケアマフを編む会

2025年1月設立。認知症ケアマフ(イギリス発祥の毛糸を編んで作った筒形の小物)を製作し、必要とする方へ提供している。マフの内側と外側に縫い付けた装飾に触れることで、手元が落ち着き安心感を得られる。

中心メンバー 吉成 広子 さん 圓佛 郁子 さん



活動を始めたきっかけは何ですか？

2024年にケアマフ講座を受講した後に、私達の「編み会の活動をやれたらいいね」という思いが一致したことがきっかけです。認知症ケアに役立つと同時に、作る人にも癒やしを与えてくれる「ケアマフ」ですが、設立当時、日立市を含む茨城県北地域でそれを知る人はほとんどいませんでした。ケアマフを通して認知症に関する正しい知識とその対応を知ってもらおうと同時に、老若男女問わずさまざまな人たちが、編み物で社会参加し、編み会に集うことが楽しみとなる居場所をつくりたいと考えました。お世話になっていたギャラリーとカフェのご厚意で会場が決まり、若い方とのご縁で案内チラシも完成させました。毎月1回の認知症ケアマフを編む会がスタートしました。

活動に参加する方へ どんな配慮をしていますか？

新しいことを始める最初の一步として、一緒に活動してくれる方々とのつながりを大切にしています。初めてかぎ針を持つ方、手仕事が好きで何が作れるのか試してみたい方など、それぞれ興味を持ってくださった皆さんには、まずはケアマフを見て・触って・知ることから始め

てほしいです。また、事前申し込み不要・時間内出入り自由で「いつでもどうぞ」と言える場所にしています。終了近くに来て、おしゃべりやお茶飲みを楽しむだけの方でも、見学のみの方でも大歓迎しています。型にはまらない自由な居場所の存在が、皆さんの外出するきっかけや気分転換につながれば嬉しいです。

活動を継続するために大切なことは何ですか？

毎月1回、定例で編み会を開催することで、集う方々と気取らず自然につながるきっかけを大切にしています。活動の拠点として「ここで編み会を開催する活動をしたい」という最初の自分自身の一声は勇気がいりましたが、ギャラリーとカフェの店主さんからは「ぜひ利用して」と快諾してくださいました。現在、日立市や高萩市のカフェなど数カ所に案内チラシやケアマフの見本を置かせていただいています。それを見て「自分の作ったものが役に立つのなら」とケアマフ製作に興味を持ってくださる方、また一方で「ケアマフが欲しい・使ってみたい」とお問い合わせくださる方もいます。編み会の参加者や賛同者の方から毛糸のご寄付や助成金など、人と人との優しいつながりと温かい想いの循環に支えられて活動を継続しています。

今後、チャレンジしてみたいことを教えてください。

継続していく中で、市や社会福祉協議会の職員さんなど、さまざまな方が参加してくださるようになりました。2026年4月からは編み会を毎月2回開催し、定例会とは場所や曜日を変えることで多くの方に知っていただく機会を作っています。ケアマフを使用しているご家族の方から「本人のお気に入りになっている」「装飾の小物がきっかけで施設の看護師さんとの会話が弾んでいる」「認知症の方の記憶を呼び起こすきっかけになる」といった声が寄せられ、徐々にケアマフが認知症ケアに役立つことの理解が広がってきていると感じています。将来的には、県北地域全市町村に編み会が立ち上がり、それぞれの地域の皆さんが「ケアマフ」を通して認知症への理解を深め、身近な交流ができるようになってほしいです。



地域の人たちを“つなぐ”ネットワークー

令和
8年度

ネットワークー活動推進大会

令和8年7月29日(水)
ザ・ヒロサワ・シティ会館

県内各地からネットワークーや市町村職員など約200名が参加しました。

新たに委嘱された12名は、幡谷定俊理事長から委嘱状を受け取り、「自分にできることを少しずつでも取り組みたい」「地域の役に立てるように頑張りたい」などと意気込みを述べました。また、常陸大宮市ネットワークー協議会の活動発表のほか、NPO法人ちいきの学校(いばらきチャレンジアワード「支え合い2025」奨励賞を受賞)の齋藤大希氏によるドライバーサポートフィットネス「ドラさぽ」の講演や実演もあり、会場は終始熱気に包まれました。

同日に開催したネットワークー代表者会議では、共助の輪を広げるための活動について意見交換を行い、有意義な時間となりました。



ネットワークー 活動報告

境町ネットワークー等連絡協議会



第39回さかいふるさとまつりに参加しました。

7月25日(土)に開催された『第39回さかいふるさとまつり』に、境町ネットワークー等連絡協議会が参加しました。まつりでは、会員が協力して、来場者に笑顔で「チャレいばレター」やリーフレットを配布し、チャレンジいばらき県民運動やネットワークーの活動をPRしました。

潮来市ネットワークー連絡協議会

ネットワークー活動推進大会で手づくり花嫁簪袋を販売しました。

7月29日(水)に開催した『ネットワークー活動推進大会』において、潮来市ネットワークー連絡協議会の会員が花嫁簪袋を販売しました。この花嫁簪袋は、毎年「水郷潮来あやめまつり」でも販売されている人気の品です。会員が定期的に集まって手作りしているため、どれも世界に一つしかないデザインです。会場では多くの参加者が、会員との交流を楽しみながら花嫁簪袋を手にしていました。



チャレンジいばらき県民運動ネットワークー募集中!

地域活動員(ネットワークー)は、居住する地域において、地域の人たちのネットワークづくりや住み良い地域づくりに取り組んでおり、現在、約560名の方々が県内各地で活躍しています。皆さんも、一緒に活動しませんか。

詳しくは、お住まいの市町村へお問い合わせください。

ネットワークーについてはコチラ▶



団体会員を訪ねて Vol.13

公益社団法人 茨城県看護協会 茨城県水戸市緑町3-5-35

団体概要 保健師・助産師・看護師・准看護師を組織する看護職の職能団体



県民が住み慣れた地域で健康に安心して暮らせるよう貢献すること。看護協会の大切な使命の1つです。例えば、ショッピングセンターやイベント会場等で開催する「まちの保健室」は、気軽に健康相談ができる場所として定着しています。また、未来の看護職（保健師、助産師、看護師）を増やすことを目的に「高校生1日看護体験」事業にも力を入れており、この夏も県内100の医療機関等の協力を得て、102校・1,718人の高校生が参加しました。患者さんからの「頑張ってる」という言葉が、参加した高校生にとって、成長と看護職を目指す励みに繋がっており、私たちはこの事業を通じて、看護職の魅力を伝えていく役割の重さを再認識しています。2040年を見据え、医療・介護の姿は「治す医療」から「治し支える医療」とされています。「まれに入院、ほぼ在宅」の実現には、職種を超えたネットワークの構築が欠かせません。看護職一人ひとりが技術を磨くだけでなく、スタッフ自身も無理なく、心地よく働ける環境を行政と一緒に作りながら、これからも地域に寄り添い、皆さんの暮らしを支えていきたいと思っています。



(左から)会長 中島貞子さん 専務理事 長山一恵さん

会 員 募 集 中

★団体会員 10,000円/年 ★個人会員 2,000円/年

チャレンジいばらき県民運動では、社会の様々な課題の解決に向け、県民一人ひとりが支え合いの精神をもって主体的にチャレンジすることを支援するとともに、新しい発想のもと、企業や団体、大学、行政などが連携することにより、県民の主体的な県民運動を推進し、「やさしさとふれあいのある茨城」を目指しております。

入会についてのお問い合わせは、チャレンジいばらき県民運動事務局(029-224-8120)まで。

入会方法

入会をご希望の方は、右記の入会申込フォームより、必要事項をご記入のうえ、チャレンジいばらき県民運動事務局へお送りください。折り返し事務局より会費納付のご案内を郵送いたします。

入会のご案内
及び
会員一覧



入会特典

ご入会いただいた団体会員・個人賛助会員の皆様には、広報紙「チャレいばらきレター」(年3回発行)をお送りし、活動状況等を共有いたします。また団体会員名を広報紙「チャレいばらきレター」とチャレンジいばらき県民運動Webサイトにてご紹介いたします。

ひぬま流域クリーン作戦

令和8年5月17日
涸沼自然公園(茨城町)

ひぬま流域クリーン作戦に、会員企業と涸沼流域市町のネットワーカーが、参加しました。

クリーンアップひぬまネットワークとチャレンジいばらき県民運動が、涸沼湖畔の環境美化と自然散策を目的に開催した「ひぬま流域クリーン作戦」にチャレンジいばらき県民運動の会員企業と、涸沼流域市町のネットワーカーが参加しました。参加者は涸沼自然公園を起点とした3コースに分かれ、沿道などに投棄された可燃ごみや空き瓶、空き缶などを、汗を流しながら回収しました。参加者からは、活動への関心の高まりや、多くの人の努力によって涸沼の豊かな自然が守られていることを再認識した、との感想が寄せられました。



《ご協力いただいた会員企業》

㈱青山製作所茨城工場、茨城県信用組合奥谷支店、
茨城トヨタグループ(茨城トヨタ自動車㈱、ネットトヨタ水戸㈱、
㈱トヨタレンタリース茨城、トヨタL&F茨城㈱ 他3社)、
株木建設㈱茨城本店、㈱鯉淵工業、
㈱ジョイフル本田ニューポートひたちなか店、昭和建設㈱、
東京海上日動火災保険㈱茨城支店、
日本原子力発電㈱地域共生部茨城事務所

《ご協力いただいた涸沼流域市町ネットワーカー》

チャレンジかさまネットワーカー連絡協議会、
茨城町ネットワーカー等連絡協議会



いばらきチャレンジアワード「支え合い2026」[観覧無料]

ファイナリストプレゼンテーション・表彰式《観覧のお知らせ》



福祉、環境、青少年育成、防犯・防災、地域づくり、コミュニティづくり、SDGsの推進など、様々な分野における社会的課題の解決に向けた、「社会貢献性」「独自性」「継続性」及び「発展性」の高いプランを表彰し、社会活動に向けてのチャレンジ精神を醸成するとともに、非営利の社会貢献活動を促進することを目的として本アワードを開催します。一次審査を通過したファイナリストが、プレゼンテーションを行います。皆様、お誘いあわせの上、奮ってご参加ください。観覧申込の方法やアワードの詳細については、チャレンジいばらき県民運動ホームページ(<https://challenge-ibaraki.jp/>)をご覧ください。

日時 ▶ 令和8年11月23日(祝) 12:45～
場所 ▶ 茨城県立図書館 2階 視聴覚ホール

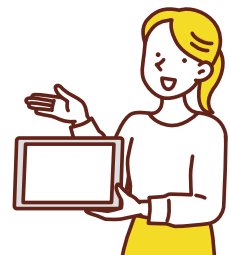
観覧の申込・詳細はコチラ ▶



学生によるボランティア体験ルポ事業

学生が地域の活動を体験！ ボランティア体験レポートを発信中！

「学生によるボランティア体験ルポ事業」では、学生が県内各地の団体の活動に参加し、地域で活動する人との出会いを橋渡しします。また、さまざまなボランティア活動を体験した学生は、その様子や魅力を体験記としてSNS・Webで紹介しています！是非、ボランティア体験記をご覧ください！



Instagram
@challengeibaraki



Facebook



Note

詳しくはチャレンジいばらき県民運動ホームページ
「学生によるボランティア体験ルポ事業」専用ページへ ▶



交流サルーンいばらき情報

ワークショップ 開催のお知らせ

牛乳パックを活用して、かわいい小物入れを作ってみませんか？子どもから大人まで、どなたでも参加できます。ぜひお気軽にお越しください。申込受付など最新情報はホームページをご覧ください。

日時 ▶ 令和8年12月19日(土)
第1部 12:30～14:00 / 第2部 14:15～15:45

会場 ▶ 交流サルーンいばらき
(水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2階)

交流サルーンいばらき

Tel ▶ 029-302-2160
E-mail ▶ saloon@challenge-ibaraki.jp



お問い合わせ

チャレンジいばらき県民運動 広報紙

〔発行〕チャレンジいばらき県民運動 令和8年10月発行
〔編集〕県民活動推進員(魅力発見・発信グループ)



チャレンジいばらき県民運動

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2階
Tel.029-224-8120 Fax.029-233-0030
ホームページ ▶ <https://challenge-ibaraki.jp>
E-mail ▶ info@challenge-ibaraki.jp



ホームページ



X



Instagram